

家畜衛生だより



平成30年12月第23号(豚)
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

岐阜県内で豚コレラ発生(3例目)!

<発生概要>

施設概要: 岐阜県畜産研究所(美濃加茂市)

飼養状況: 繁殖豚 67頭、子豚 424頭

<経緯>

12月3日: 飼養豚が食欲不振等の症状(11月30日から計4頭)

12月4日: 家畜保健衛生所で検査 豚コレラの疑い

12月5日: 国の機関で精密検査 患畜と確認

☆☆☆☆☆☆飼養衛生管理の再徹底を! ☆☆☆☆☆☆☆

- 飼養衛生管理基準の再確認
- 発生地域への海外渡航の自粛
- 農場出入り車両及び人の消毒の徹底
- 肉を含む可能性がある食品残さを餌として利用する場合は適切な加熱処理を行う
- 野生動物を農場へ侵入させない
- 死亡豚と野生動物との接触防止、家畜が死亡した際は処理するまでの間、野生動物に荒らされないように保管する



- ・ 今回の事例では**発熱やチアノーゼ等の臨床症状が少なかった**。
- ・ 「**発熱、元気消失、食欲減退、結膜炎**」や「**流死産**」が群単位で複数の豚で認められる場合や**豚の様子がいつもと違う**と感じた時は、管轄の家畜保健衛生所に届け出るようにしてください。

東部家畜保健衛生所

Tel.0475-52-4101

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

野生動物の農場内侵入防止策を！

野生動物の侵入を防ぐには、電気柵やワイヤーフェンスなどの設置が有効な手段ですが、設置する場合はいくつか注意しなくてはならないポイントがあります。今回はイノシシ防除を対象に、電気柵等の設置にあたっての注意点をお知らせします。

☆ 防護柵の鉄則！ ☆

1 ていねいな設置

- ・ 防護柵の抜け穴を丁寧にふさがないと、柵と地面との間が狙われる。
- ・ 地面に杭を打ち込む。カエシ付きの杭が良い。
- ・ 持ち上げられないように、両隣をきちんと結ぶ。

2 こまめな管理（メンテナンス） ← 必須

柵の設置は、イノシシ対策の「終わり」ではなく、「始まり」である。設置後に維持管理しないと、効果を維持できない。特に、電気柵の場合は規定の電圧を維持しないと、ただのヒモになってしまうので、漏電防止のためにこまめな除草が必要(一番下の電線に草が触れないようにする)。共同で設置したときは、電圧チェックと除草の当番も決めましょう。

3 環境の整備も同時に行う（臆病な性格を利用する）

イノシシは臆病な性格なため、隠れ家（森や身を隠すことができる耕作放棄地）から近い田畑が先に狙われる。このような田畑は、優先的に柵を設置すべきだが、隠れ家の林縁を伐採し、下草を刈り、見通しを確保することも必要。

4 早めの対策で、野生動物に学習させる

イノシシ（特にメスとウリボウ）が集落に出現し始たら、早めに防護柵を設置して、飼料や農作物を食べようという気持ちにさせない。

電気柵の電線は15~20cm間隔で！
夏場は草刈り2回/月
電圧チェックは毎週1回

野生イノシシの検査状況（12月3日現在）

- ・ 岐阜県 473頭(陽性62頭、陰性411頭)
- ・ 他37府県 136頭(全頭陰性)

